for Startups, Inc.

会社説明資料

for Startups Capital

Syngress

STARTUP DB

GROWTH INDUSTRY CONFERENCE

YOUR GROWTH PARTNER.

共に進化する伴走者。

フォースタートアップス株式会社

TSE : Growth 7089

© 2024 for Startups, Inc.

Agenda

1. 会社概要

2. 日本のスタートアップを取り巻く状況

3. 事業内容

4. 2025年3月期の概要

5. Appendix

当社の開示情報をIRメールにて配信しております。
どなたでも無料でご登録いただけます。

© 2024 for Startups, Inc.

1. 会社概要

© 2024 for Startups, Inc.

会社概要

会社名	フォースタートアップス株式会社
設立	2016年9月
資本金	238百万円　（2024年3月末日時点）
所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー36F

事業内容	スタートアップ企業への人材紹介を 中核とした成長産業支援事業

© 2024 for Startups, Inc.

沿革

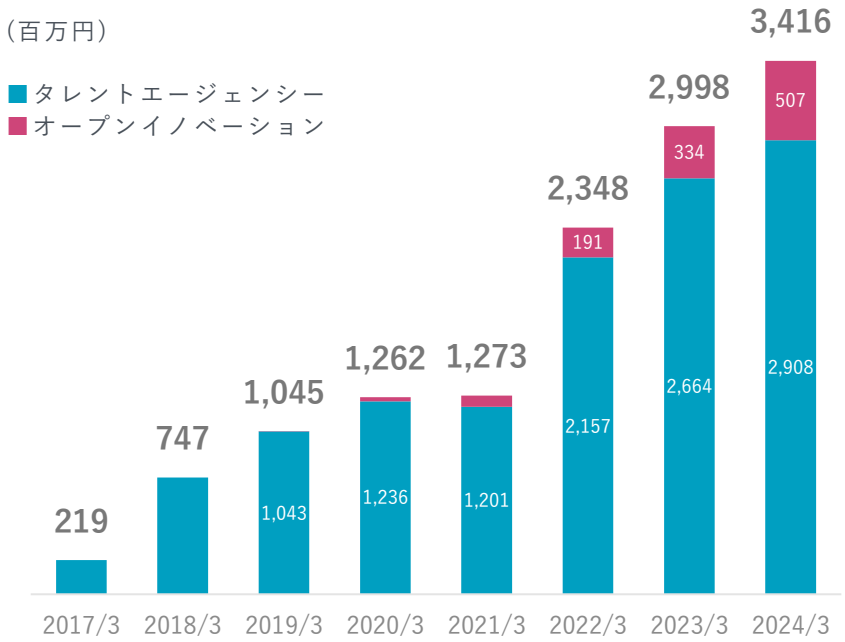
2013.4	株式会社ウィルグループ（6089）子会社にて事業部を立ち上げ
2016.9	新設分割により株式会社ネットジンザイバンク設立 ※ウィルグループ100%子会社
2018.3	フォースタートアップス株式会社に社名変更
2020.3	東証マザーズへ上場　（証券コード：7089）
2024.3	ウィルグループとの資本関係・親子上場を解消

© 2024 for Startups, Inc.

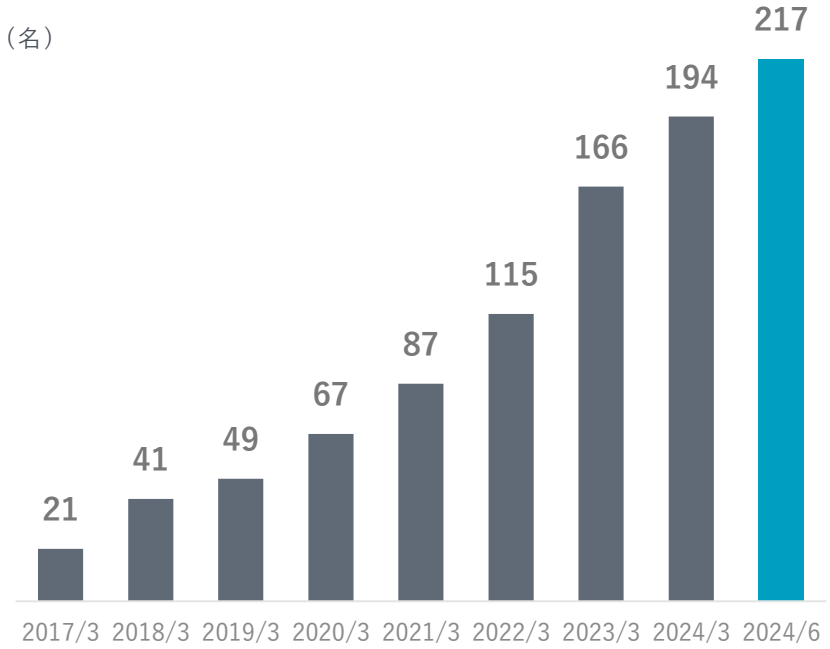
数字で見るフォースタートアップス

2024年9月で創業8年、売上高は創業以来連続増収中、 2024年6月現在の社員数は200名超

売上高の推移



社員数の推移

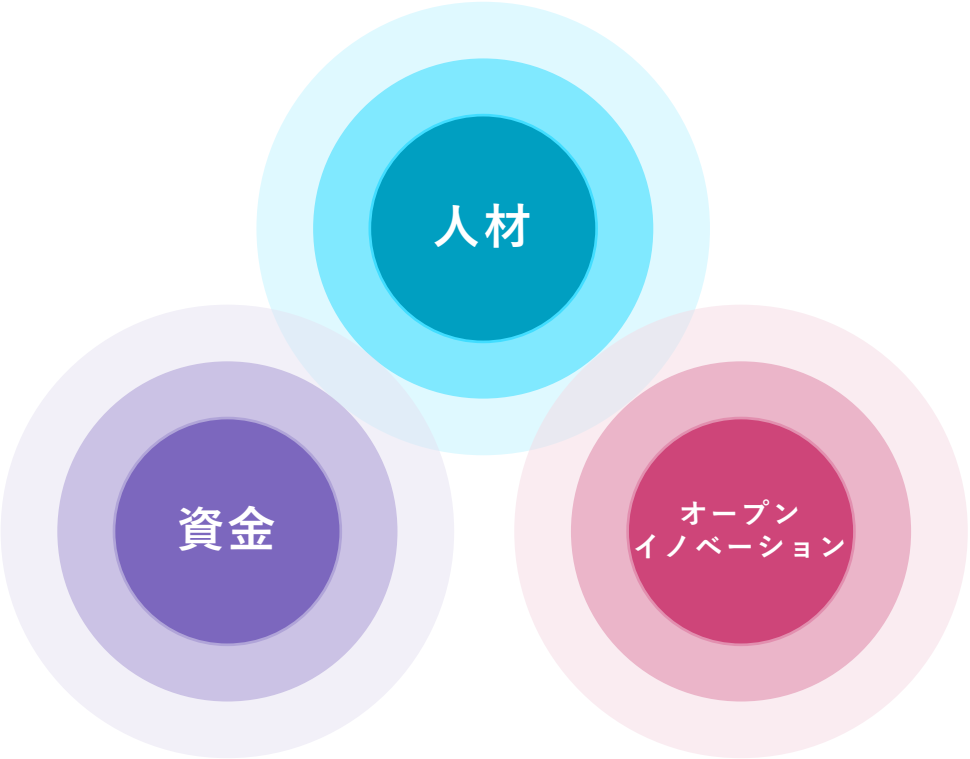


© 2024 for Startups, Inc.

事業ドメイン

日本のスタートアップ企業・成長企業を支える重要な３要素を事業ドメインとする

国内最大級の
成長産業支援事業者



© 2024 for Startups, Inc.

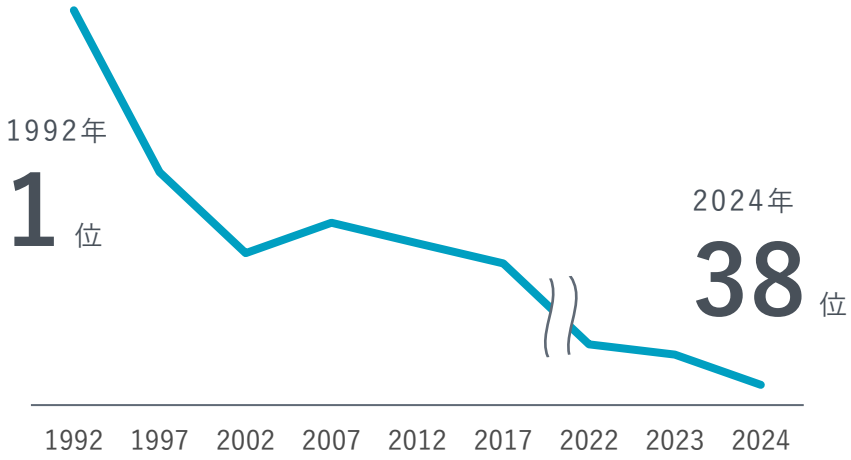
2．日本のスタートアップを取り巻く状況

© 2024 for Startups, Inc.

日本の社会課題

かつて『Japan as No.1』と呼ばれ、IMD世界競争力ランキングで1位だった日本は、2024年現在38位
当社が注力する「人材・新興企業・イノベーションへの投資が必要」と言及されている

世界競争力ランキング 日本



IMD世界競争力ランキングより当社作成

ランキングに基づく日本の課題

- 人材、新興企業、イノベーションへの投資による生産性の向上
- リスキリング、キャリアの柔軟性、モビリティを通じた労働市場改革を推進する
- 人口減少と高齢化の問題に取り組む

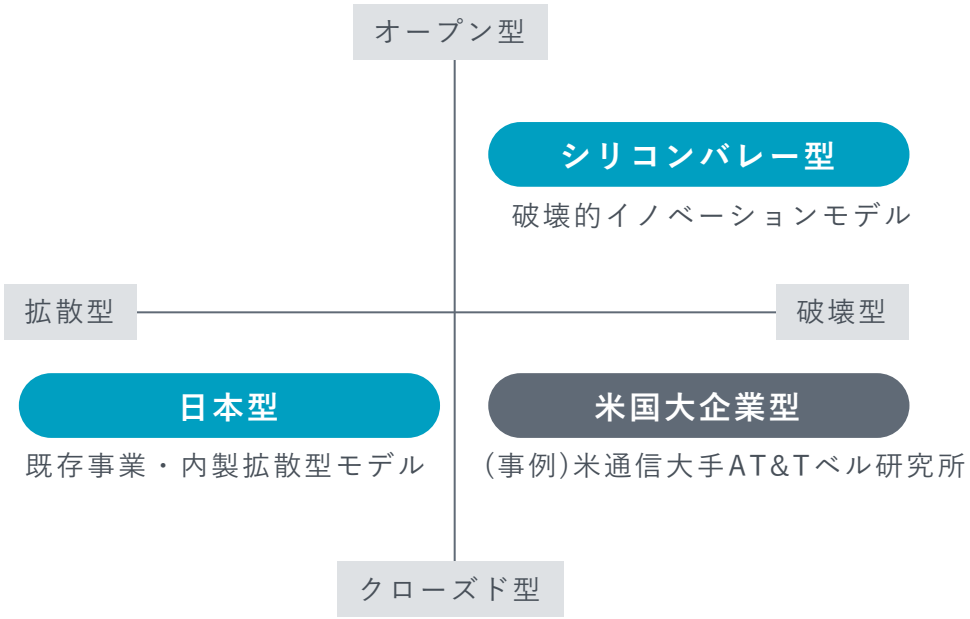
⋮

IMD Country Profiles “Japan” – Challenges より当社が訳したもの
https://www.imd.org/entity-profile/japan-wcr/#_yearbook_Economic%20Performance

© 2024 for Startups, Inc.

背景｜日米のイノベーションモデルの違い

インターネットやテクノロジーの飛躍的な発展に伴い、日本型の「クローズドイノベーション」に限界がきた
シリコンバレー型のイノベーション＝「スタートアップ創出」が求められるようになった



日本がイノベーションを成功させるための要件

1. 産学間、異業種間、大企業とスタートアップ間の連携強化
2. リスクをとれるスタートアップ企業の重要性認識
3. 人材の流動化、キャリアパスの多様化、起業家教育、グローバル人材育成

急速な時代の変化に伴い、日本型モデルの「既存技術・既存事業の発展型」に依存したモデルでは、短期間で市場ニーズを満たす製品・技術を開発すること、長期的に収益を上げ続けることが困難に

NEDO「オープンイノベーション白書（初版）」－オープンイノベーションの定義

© 2024 for Startups, Inc.

『スタートアップ支援』が国策となった

2013年からの10年で約10倍規模となったスタートアップ投資額を、さらに10倍規模にする目標が掲げられた

スタートアップの意義

1. 経済成長のドライバー。
   将来の所得や財政を支える
   新たな担い手。

2. 雇用創出にも大きな役割。

3. 新たな社会課題を解決する
   主体としても重要。

参照：経済産業省『スタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する(2024年2月)』
https://www.meti.go.jp/policy/newbusiness/kaisetsushiryou_2024.pdf

スタートアップ育成5カ年計画

＜政府目標＞

スタートアップへの投資額を
2027年度に10兆円規模(現状の10倍超)にする

＜3本柱＞

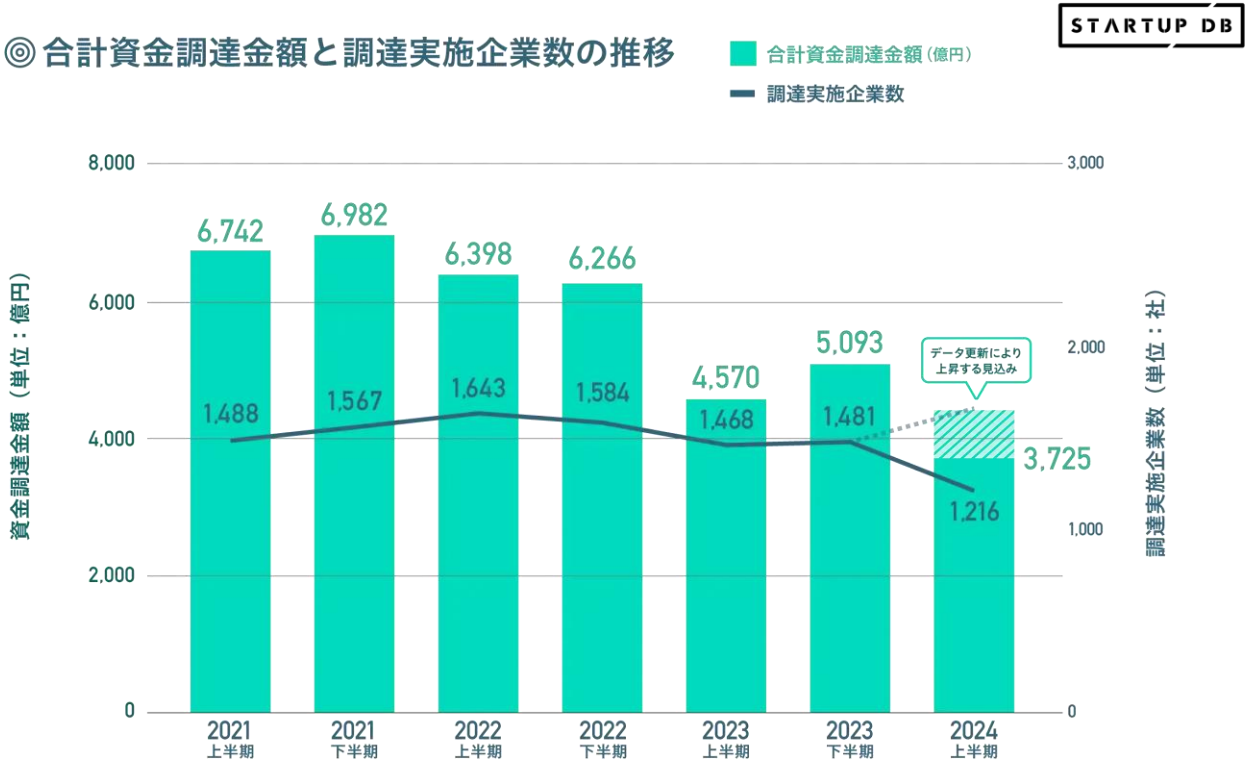
- 人材・ネットワークの構築
- 資金供給の強化と出口戦略の多様化
- オープンイノベーションの推進

参照：内閣官房『スタートアップ育成5カ年計画』
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/pdf/sdfyplan2022.pdf

© 2024 for Startups, Inc.

スタートアップの資金調達環境

◎合計資金調達金額と調達実施企業数の推移



注 1：2024 年 7 月 5 日時点 注 2: 投資実行日不詳の場合は、発表日時に基づく 注 3: 一部、融資や社債での調達、関連会社からの調達を含む 注 4: 今後、各社の登記簿情報の更新にあわせ、合計資金 調達金額・資金調達実施社数が増加する可能性がある。出所 :STARTUP DB

- 新型コロナウイルスによる金融緩和を背景に2021/22年の調達額が大きく増加
- 地政学リスクや金利高を背景に世界的に資金調達額が減少
- 日本は規模が小さく、政策の下支えもあり世界各国よりは下落幅が少なく推移

© 2024 for Startups, Inc.

東海地方はスタートアップ創出への熱が高い

愛知・浜松を中心に東海地方のスタートアップ育成熱が高まっている

2023年10月　愛知県大村知事との意見交換

愛知県　NUS National University of Singapore　for Startups, Inc.

愛知県「シンガポール国立大学連携事業」

浜松市「スタートアップ地域連携促進事業」

【その他推進事業】

愛知県「ディープテック推進事業」

Google for Startups主催のスタートアップ育成プログラム「Startup School Aichi」に運営サポートとして協力

岐阜県「技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援事業」

© 2024 for Startups, Inc.

3. 事業内容

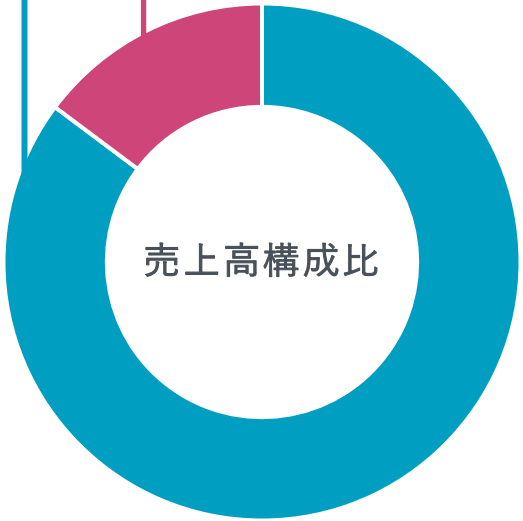
© 2024 for Startups, Inc.

事業ポートフォリオ

タレントエージェンシー

85.2%

- 人材紹介
- コンサルティング
- 起業支援



オープンイノベーション

14.8%

- Public Affairs
- STARTUP DB
- カンファレンス

ベンチャーキャピタル

0.0%

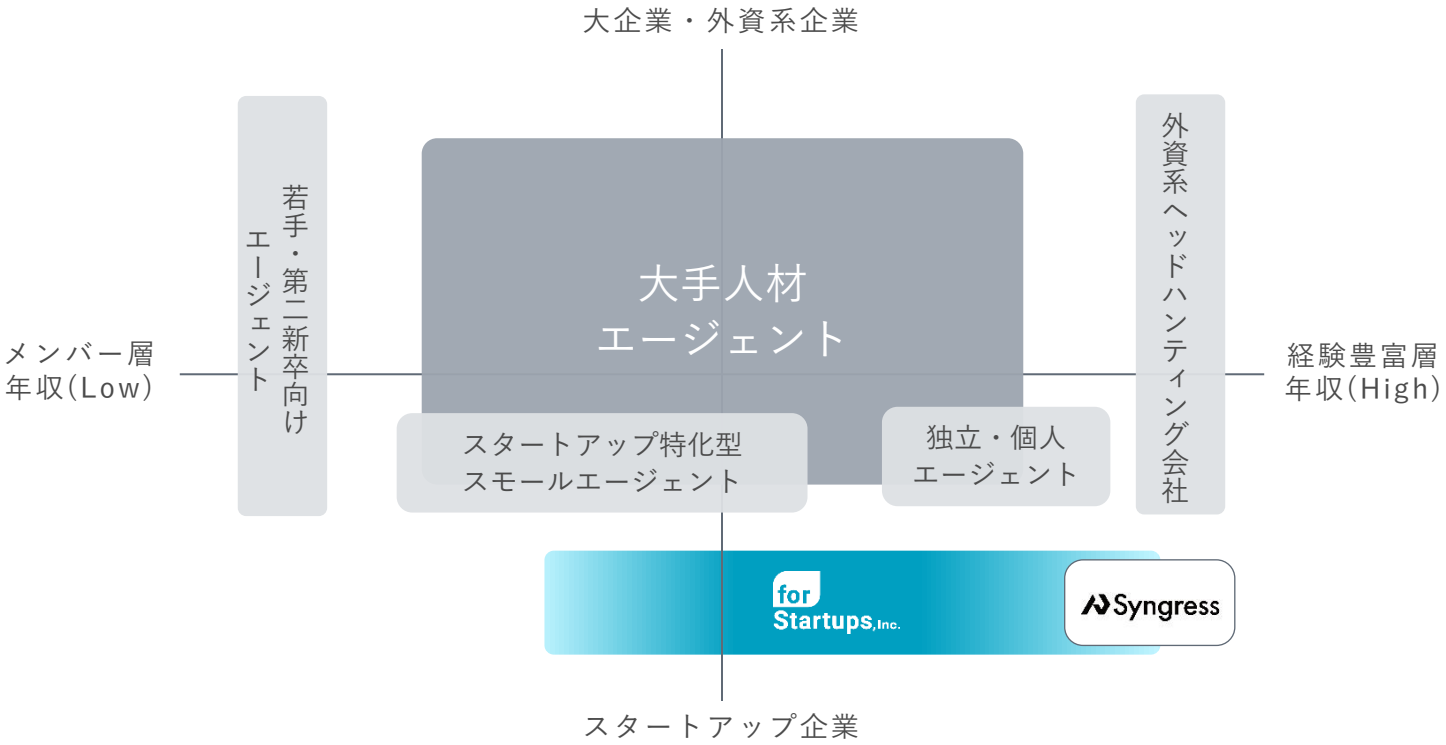
- スタートアップ投資

売上構成比は2024年3月期の売上高

© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜業界ポジショニング

スタートアップ企業のミドル・ハイレイヤー人材を中心に支援



© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜支援事例

代表的な支援事例をコーポレートサイト「Challengers」コーナーで公開

株式会社タイミー

＜記事一部抜粋＞
代表取締役　小川氏

当時は、エージェントに苦手意識を持っていました。ハイレイヤーになるほど、1人につき何百万円となる。3年前は、資金調達も3億円程度だったので、たとえば300万円だと1%です。その金額は払いづらかったですね。
認識が変わったのは、CFOなどのハイレイヤーをフォースタさん経由で採用したとき。時間をすごく短縮できたと感じました。歩まなくてはいけない道が短縮された感覚です。スタートアップはそもそも時間が限られています。非常に選択と集中が求められるなかで、このお金の使い方は至って合理性のあるものだとわかったことが、転換点でした。感情ではなく、一定のフィーを払うに値する効果があったからです。

株式会社カケハシ

＜記事一部抜粋＞
代表取締役CEO　中川氏

当時の課題は経営メンバーが採用のプロセスに関わりすぎていたこと。やはり、経営陣が話すと未来を語れる分、しっかりアトラクトできます。でも、採用したい人数を考えると経営メンバーだけでの採用体制には限界がきます。全方位での採用を実現するためは、組織全員で採用活動ができるようになることが重要でした。各チームのハイアリングマネージャー（採用推進責任者）を中心に、組織として採用に取り組む体制にシフトすることが、当時の最も大きなテーマでした。フォースタさんと一緒に、面談のストーリーを見直したり、細かいフィードバックのサイクルを回したりしながら、ハイアリングマネージャーには具体的な改善点を伝えることで、徐々にいい面接ができるようになりました。この効果は大きかったです。

© 2024 for Startups, Inc.

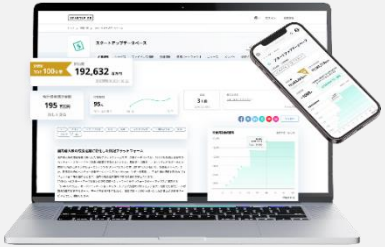
タレントエージェンシー｜強み

情報開示が義務化されていないスタートアップ企業の状況を理解し、提案する力

資金調達などの定量情報 × 起業家の生の声・成長戦略 × 人材支援による課題解決力

データベース

スタートアップ企業24,000社以上を掲載する『STARTUP DB』を運営



STARTUP DB

ネットワーク

- 年200回の起業家勉強会の開催
- 感謝祭・カンファレンスの運営

起業家勉強会の様子

支援実績・ノウハウ

過去数百社のスタートアップを支援。企業やサービスの中身が異なっても人材採用課題は似た傾向がある

勉強会にご来社いただいた起業家等の皆様

スタートアップ企業の求める人材を把握し、効果的な支援を実行

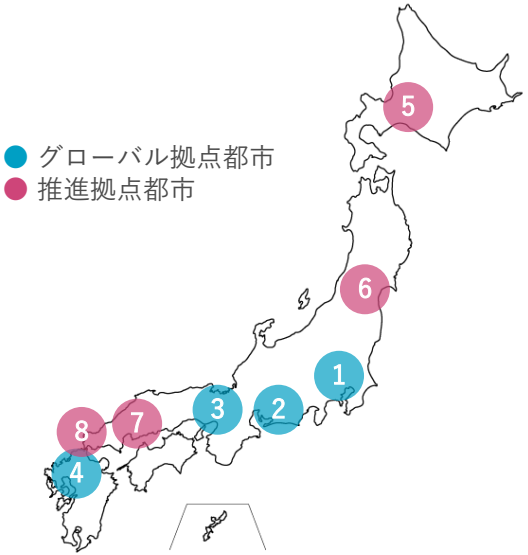
© 2024 for Startups, Inc.

Public Affairs｜支援実績

日本各地の自治体・民間事業者が運営するスタートアップ関連事業のサポートを行う

内閣府が定めた『スタートアップエコシステム拠点都市』８拠点中７拠点で事業受託・協力機関として参画

スタートアップ・エコシステム拠点都市
全8拠点



内閣府『世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成』
https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/index.html

主な実績

1 スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム

東京都	次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業

2 Central Japan Startup Ecosystem Consortium

浜松市	• スタートアップ成長支援事業 • Next Innovator 育成事業
愛知県	• シンガポール国立大学連携事業 • ディープテック推進事業

3 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム

関西広域連合	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業
大阪府	海外プロモーションモデル事業

4 福岡スタートアップ・コンソーシアム

福岡市	• 福岡市スタートアップ支援施設運営事業

6 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会

みちのくアカデミア	スタートアップ共創プラットフォームに協力機関参画

7 広島地域イノベーション戦略推進会議

広島県	『ひろしまユニコーン10』プロジェクト環境整備業務
中国経済産業局	中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業

8 北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム

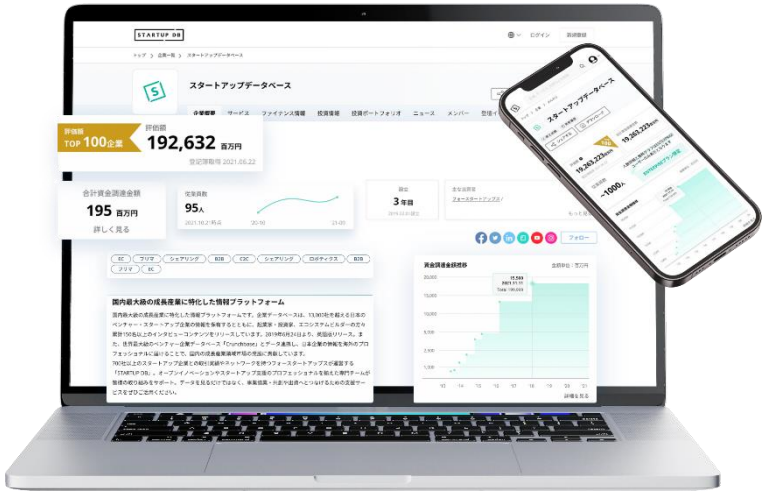
北九州市	企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業

© 2024 for Startups, Inc.

STARTUP DB

24,000社以上の

成長産業に特化した
プラットフォーム



企業情報	投資家企業	サービス	特許
24,000 社以上	10,000 社以上	42,000 件以上	850,000 件以上

© 2024 for Startups, Inc.

GRIC2024
GROWTH INDUSTRY CONFERENCE Produced by for Startups, Inc.
11.12 TUE – 14 THU
渋谷ヒカリエホール ハイブリッド開催
無料参加登録 受付中
for Startups, Inc.

ベンチャーキャピタル

「人材」支援と「資金」支援の掛け合わせによるスタートアップ支援を目的にファンドを組成
タレントエージェンシーサービスの人材支援先スタートアップ企業の更なる成長可能性に投資を行う

ファンドの概要

名称	フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合
設立目的	当社のタレントエージェンシーサービスとのシナジーを創出し、成長産業支援をより強固にするため
出資総額	最大15億円
出資者	フォースタートアップスキャピタル合同会社 株式会社三井住友銀行 SMBC戦略出資4号投資事業有限責任組合　　ほか
投資対象	主として国内のスタートアップ、ベンチャー企業 ＜ミドル・レイターステージ及び起業支援案件＞

for Startups Capital

1号ファンド投資先企業

FEZ
YOURMYSTAR
READYFOR
POCKETALK
KAKEHASHI
_KNOWLEDGE WORK

© 2024 for Startups, Inc.

4. 2025年3月期の概要

© 2024 for Startups, Inc.

2025年3月期 通期計画

売上高は20%成長、営業利益は本社移転に伴う一時費用発生も増益ラインを維持

（百万円）	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高	3,416	4,100	＋ 20.0%
営業利益	423	450	＋ 6.3%
経常利益	428	450	＋ 5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	385	310	▲ 19.7%

- 本社移転に伴う一時的に発生する費用として1.8億円を見込む
- 純利益は、前期に計上したVC事業の評価損における親会社株主帰属分と非支配株主帰属分の会計処理による反動で減益

© 2024 for Startups, Inc.

2025年3月期 第1四半期業績

本社移転に伴う一時的な費用計上により減益も、売上・利益ともに計画どおり進捗

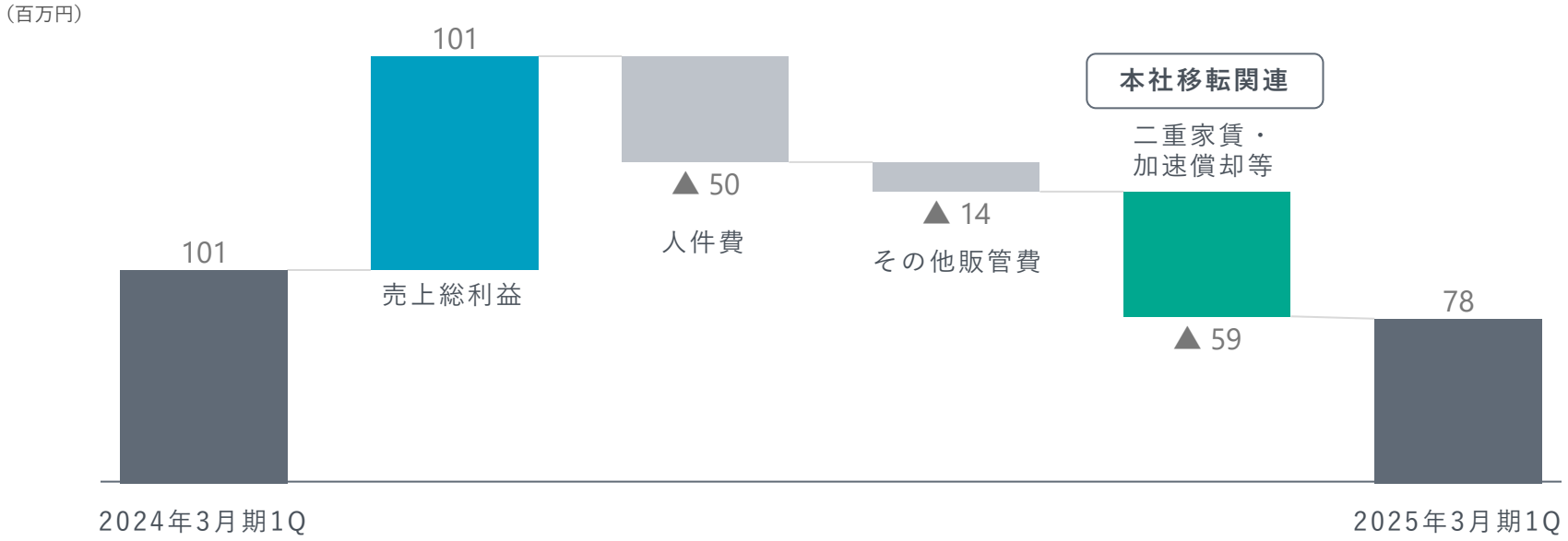
（百万円）	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	729	865	＋18.7%
営業利益	101	78	▲22.4%
経常利益	99	78	▲21.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	59	▲17.2%

- 増収・減益の結果だが計画どおり進捗
- 本社移転に伴う一時的に発生する費用（二重家賃、固定資産の償却年数短縮に伴う費用）として59百万円を計上
- 社員数は217名（前期末比+23名）と、新卒・中途ともに積極的な採用活動を実行

© 2024 for Startups, Inc.

1Q営業利益前期比較

本社移転に伴う一時的な費用として、販管費が前年同期比59百万円増加した影響で減益

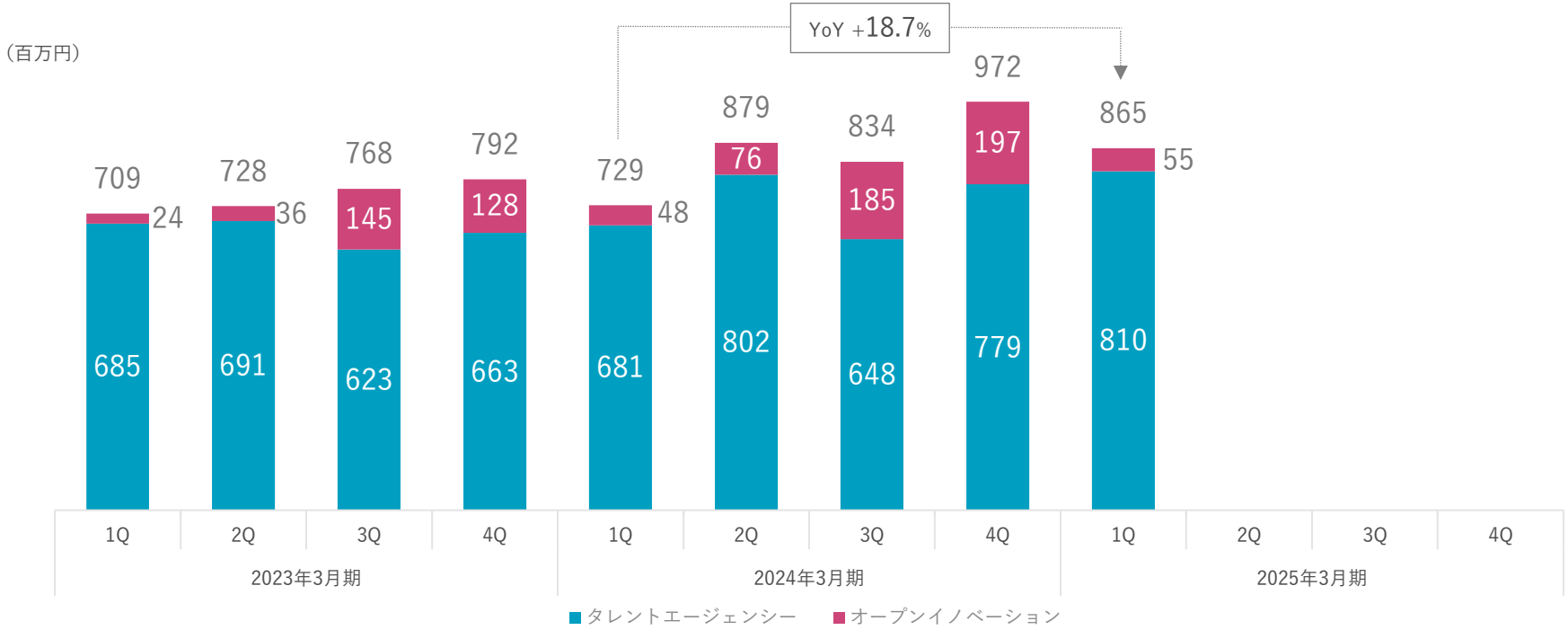


© 2024 for Startups, Inc.

全社(連結)｜売上高－四半期推移

タレントエージェンシーの四半期売上高が過去最高を記録

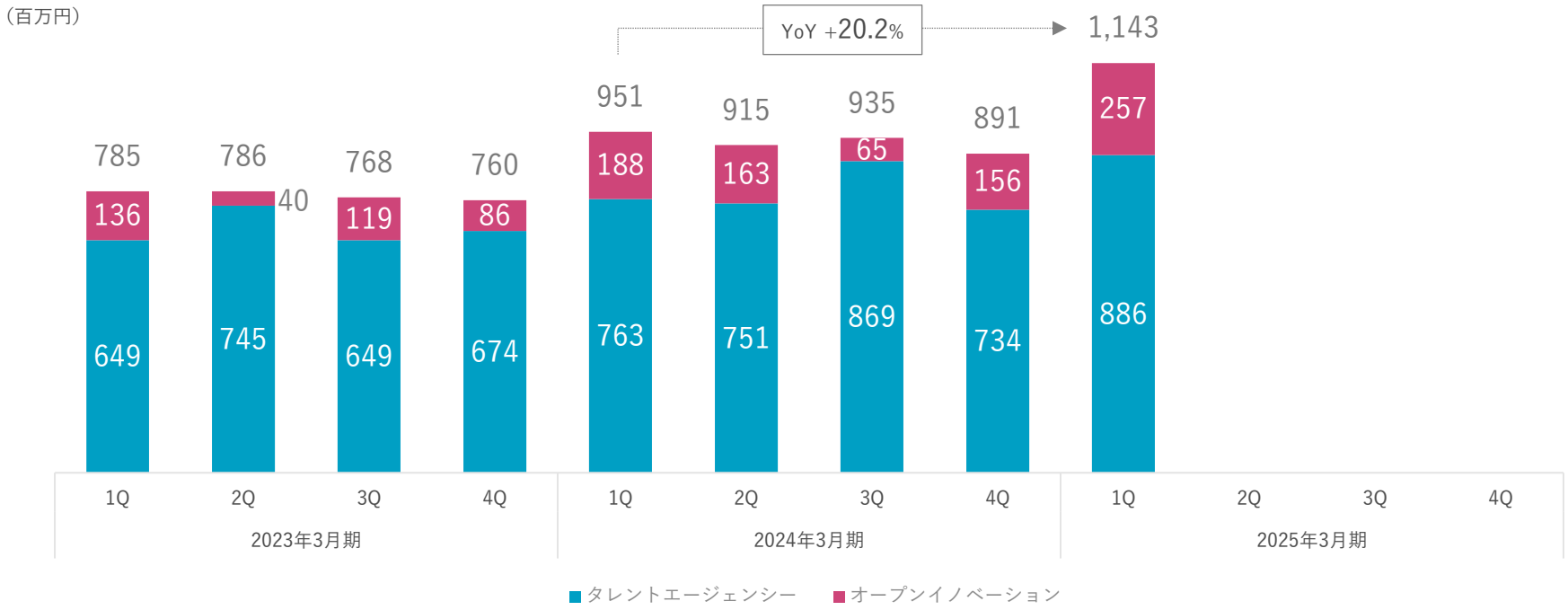
オープンイノベーションは収益認識の観点で、年度末に検収が行われることから売上高は下期偏重となる見込み



© 2024 for Startups, Inc.

全社(連結)｜受注高－四半期推移

両サービスともに過去最高の四半期受注高となり10億円を超える。既存大型顧客の採用活動再開が追い風
オープンイノベーションは、順調に各事業が拡大



© 2024 for Startups, Inc.

25/3期の重点投資ポイント

中核事業のタレントエージェンシーが業界の圧倒的No.1であり続けるための投資実行

25/3期は人材と環境への投資を優先するが、今後も様々な投資策を検討していく

中期方針に基づく最優先課題

タレントエージェンシーの売上・利益の持続的な成長

M&A
事業提携
広告

25/3期　重点投資ポイント

採用

人材

- ヒューマンキャピタリストの採用＆育成
- 人的資本経営フレームワークに基づく成長

環境

- 急成長に伴い収容人数がギリギリな状態に
- 起業家・VCが集う魅力的なオフィスへ

シナジー創出

投資

オープンイノベーション

ベンチャーキャピタル

＋ 新規事業

原則、再投資

投資によって生み出した利益

株主還元

© 2024 for Startups, Inc.

オフィス移転

2024年11月に本社を移転する。移転先の麻布台ヒルズには『Tokyo Venture Capital Hub』拠点があり国内トップティアのVC・CVCとの連携強化を狙うほか、採用ブランディングに寄与するものとみている

本社移転の背景

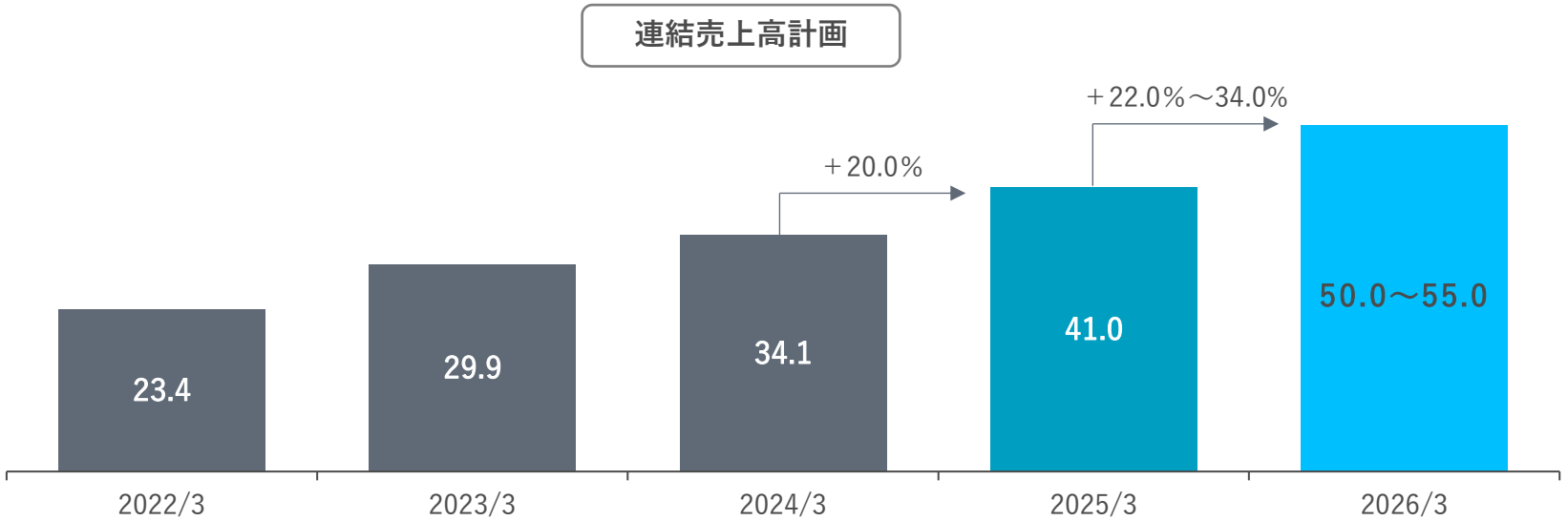
- VCとの連携を強化し事業成長を推進
- 将来の社員増加ペースを見越した一体感あるオフィス環境の構築
- 採用ブランディング

© 2024 for Startups, Inc.

Startups First
Be a Talent
The Team

中期業績目標

26年3月期に連結売上高50億円超、営業利益率15%水準を目指す方針



営業利益（億円）	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
	4.8	5.8	4.2	4.5	7.5 ~ 8.2*

*利益率15%水準と仮定

© 2024 for Startups, Inc.

自己株式取得を決定

株価の状況や財務状態を踏まえ、自己株式取得を決定。今後も当社の持続的な成長を追求し続けるとともに株式市場の動向や財務状況・資本コスト等を勘案した上で、機動的な実施を検討してまいります

自己株式の取得

- 資本効率の向上、株主還元の充実を図るため、自己株式を取得
- 取得概要
  - 取得総額：　3億円（上限）
  - 取得株式数：　25万株（上限）
  - 取得期間：　2024年9月9日～2025年9月8日

© 2024 for Startups, Inc.

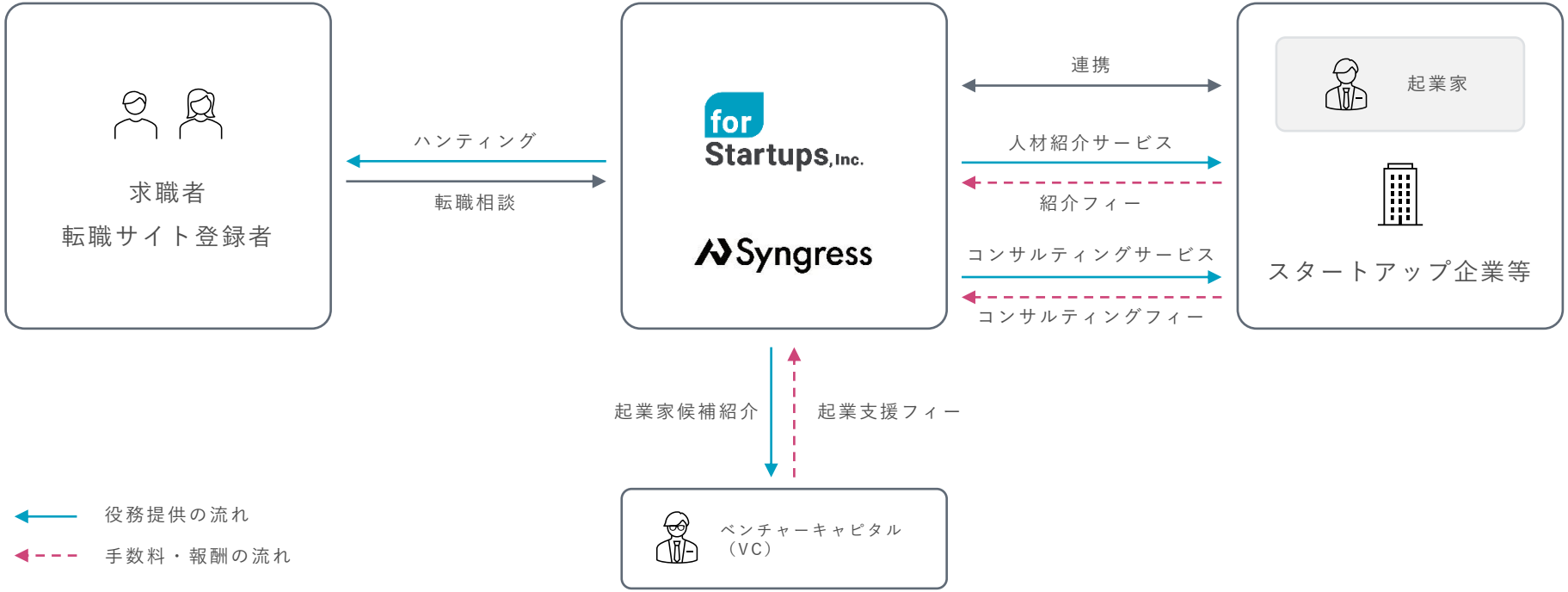
5. Appendix

© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜概要

スタートアップ企業等への人材紹介サービスが収益の柱

VCとともに起業をサポートする起業支援サービスや、コンサルティングサービスも行う



© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜人材紹介－収益構造

人材紹介サービスは、成果報酬型かつ労働集約型のビジネスモデル

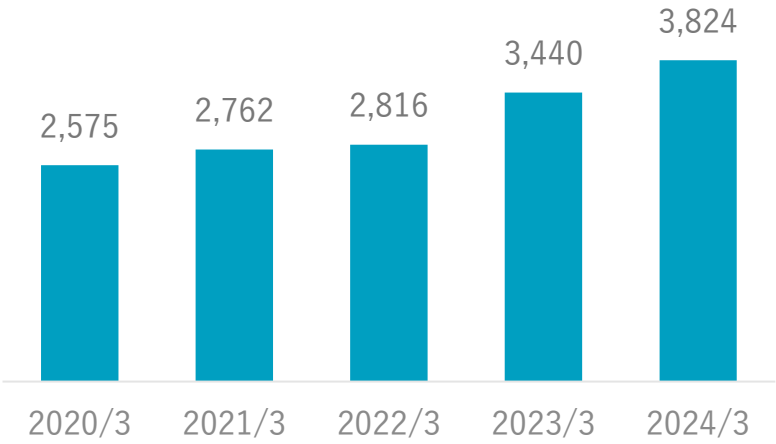
© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜単価・件数の推移

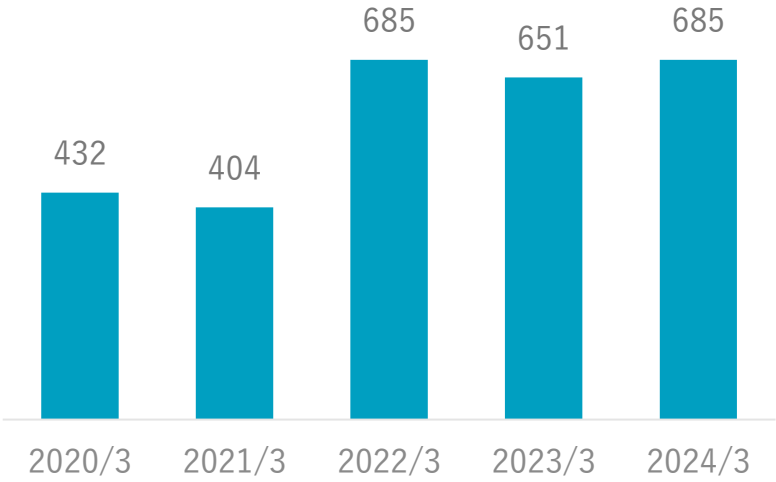
経営人材や幹部候補人材の支援比率が相対的に高いため、高単価を維持

単価は求職者の決定年収から算出されるなか、スタートアップ企業の年収水準はここ数年で劇的に上昇している

単価の推移（千円）



件数の推移（件）



© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜人材紹介支援実績

for Startups, Inc.

未上場スタートアップ

SmartNews
ANDPAD
SmartHR
KAKEHASHI
GO 移動で人を幸せに。
FEZ
YOURMYSTAR
READYFOR
POCKETALK
Loglass
TBM
Graffer
TERASS
estie
CADDI
STORES
beBit
UniFa
dely
Techtouch
TURING
zeals
UPSIDER
hacomono
Fast DOCTOR
LegalOn Technologies
KAMINASHI
bellFace
_KNOWLEDGE WORK
LUUP
FLUX
ミツモア
TIER IV
enechain
SUPER STUDIO
asoview!
RICHKA
AXELSPACE
XICA
SHE
monoxer
TableCheck
Brave group
NOT A HOTEL

支援中に上場したスタートアップ

mercari
RAKSUL
PLAID
sansan
Timee
VISASQ
MEDLEY
coconala
Money Forward
yappli
safie
EXAWIZARDS
FINATEXT
BASE
ABEJA

既存上場企業

DeNA
M3, Inc.
PKSHA TECHNOLOGY

エコシステムビルダー（VC、イノベーション・キャンパス）

GLOBIS CAPITAL PARTNERS
INCUBATEFUND
WiL WORLD INNOVATION LAB
cic tokyo

© 2024 for Startups, Inc.

タレントエージェンシー｜起業支援実績

主にベンチャーキャピタルと連携し、起業家候補者をサポートし「起業」を支援

現時点では7社の支援実績を公表

2016年8月設立
ユアマイスター株式会社

2017年7月設立
株式会社グラファー

2019年2月設立
Blue Practice株式会社

2019年4月設立
株式会社TERASS

2020年11月設立
株式会社Yuimedi

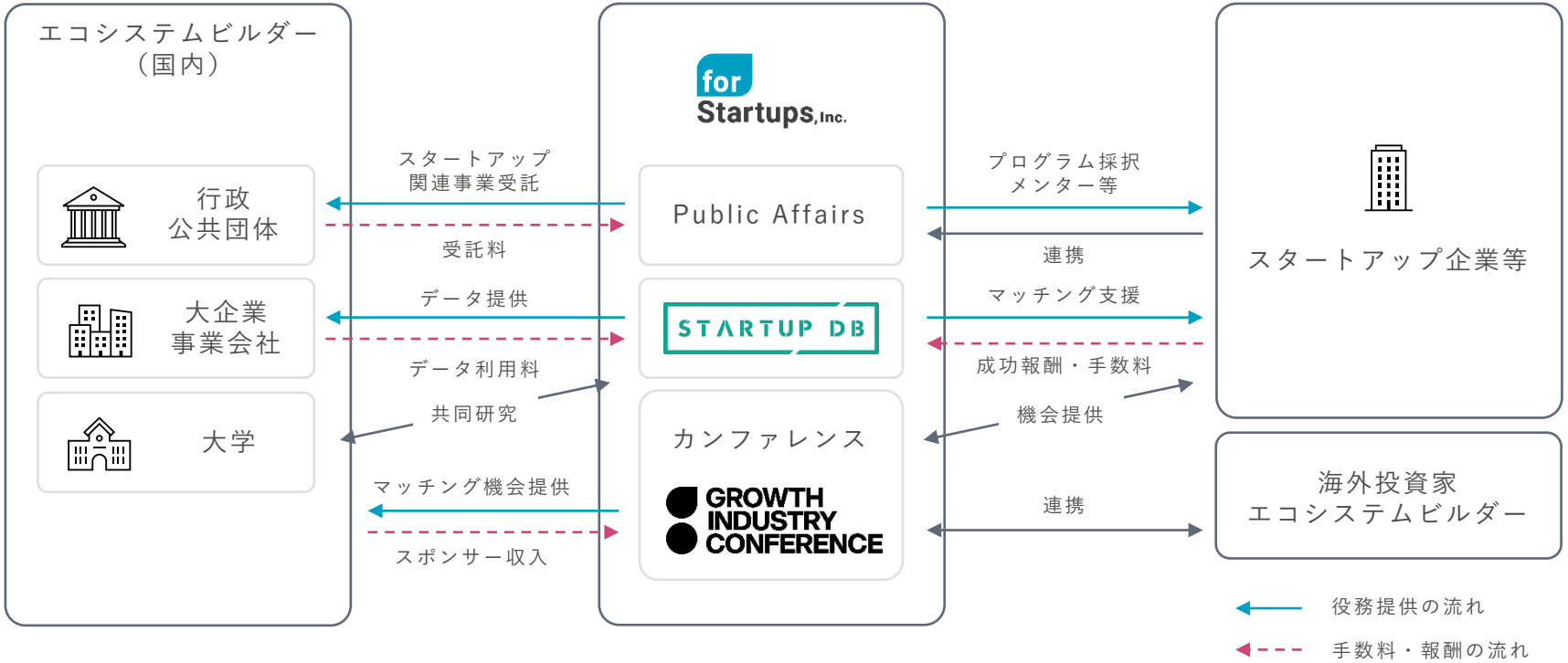
2021年4月設立
株式会社NABLA Mobility

2022年7月設立
株式会社フェイガー

© 2024 for Startups, Inc.

オープンイノベーション｜概要

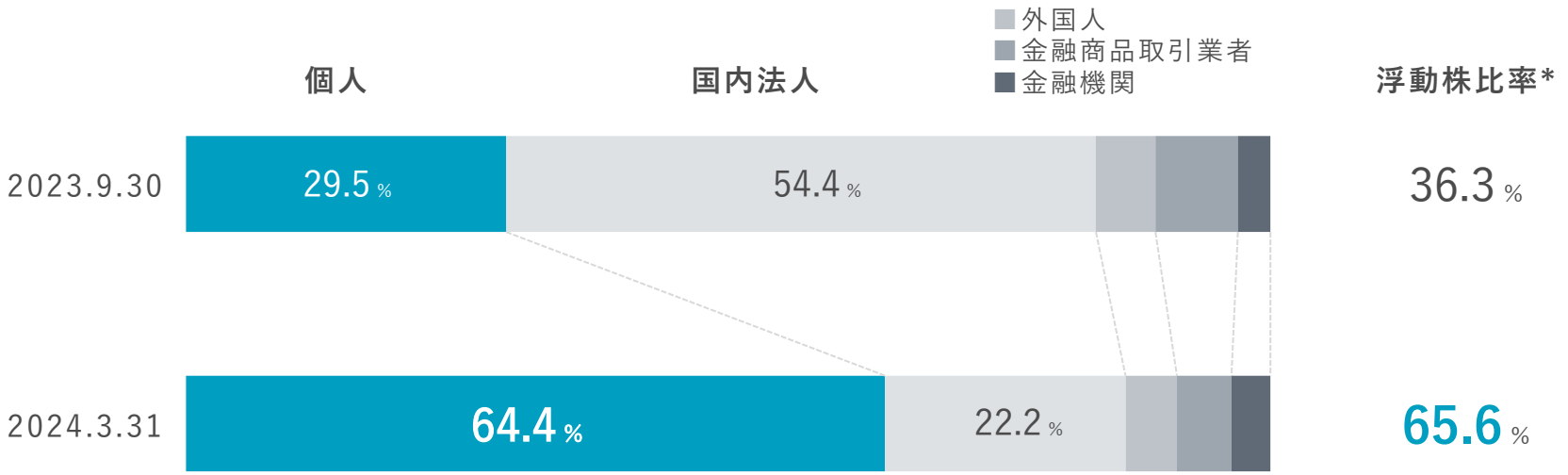
日本のスタートアップ・エコシステムの発展を目的としたサービスを展開



© 2024 for Startups, Inc.

株主構成

株式会社ウィルグループとの親子上場解消に伴い、個人比率が高まり浮動株比率が大きく改善



2023.9：ウィルグループ、役員保有株、持株会、自社株を除いた株数から算出
2024.3：役員保有株、持株会、第三者譲渡先、自社株を除いた株数から算出

© 2024 for Startups, Inc.

IRの取組み

シェアードリサーチ

シェアードリサーチ社による第三者視点の企業分析レポートは、投資家の皆様の投資判断のご参考になるものと考えております。

シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら
Shared Research

https://sharedresearch.jp/ja/companies/7089

QA Station

過去に投資家の皆様からいただいた質疑応答の内容をQA Stationにて一覧化しております。以下URLからご確認いただけます。

IRに関連する
Q&A一覧はこちら

https://www.qastation.jp/

個人投資家向け活動

個人投資家向けIRセミナーへの登壇をはじめ、投資家の皆様に当社のご理解を深めていただける情報提供を強化しております。

IR note

IRセミナー

IRメール配信

当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を配信しております。登録は以下URLからご登録いただけます。

https://www.magicalir.net/7089/irmail/index.php

© 2024 for Startups, Inc.

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

© 2024 for Startups, Inc.